

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2 単位 日本を知る	日本の歴史 B	高山 有紀	1 年次	秋

授業のキーワード	思想史、精神史、生活文化史
授業の概要	信仰と生活をテーマに、日本文化の形成に影響力をもったとみられるさまざまな思想を扱います。思想史、精神史に力点が置かれる授業です。「日本の歴史 A」の履修を前提としません。
期待される学習成果（目標）	①多様な生き方、ものの考え方があることを知ることができます。 ②身近な年中行事や生活文化を通じ、日本文化の特質について理解することができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	はじめに	授業の進め方を説明します。日本史の学習体験に関するアンケートを行います。	第 9 講	年中行事①	「節供」の成り立ちを通して、日本人の生活文化の形成について学びます。
第 2 講	日本人の信仰 ①	「神仏習合」の考え方の特質について学びます。	第 10 講	年中行事②	「節供」の成り立ちを通して、日本人の生活文化の形成について学びます。
第 3 講	日本人の信仰 ②	浄土思想と日本人の「死生観」について学びます。	第 11 講	年中行事③	「正月」、「盆」を通して、生活文化と神仏の関係について学びます。
第 4 講	日本人の信仰 ③	「死生観」と関連し、中世の人々の「遁世」や「夢」について学びます。	第 12 講	年中行事④	「正月」、「盆」を通して、生活文化と神仏の関係について学びます。
第 5 講	日本人の信仰 ④	中世の人々の「起請文」作成の意味について学びます。	第 13 講	年中行事⑤	日本人の生活習慣と休日（「休み日」、祝日等）の変化について学びます。
第 6 講	日本人の信仰 ⑤	近世の宗教政策を背景に、人々の娯楽と信仰の関係について学びます。	第 14 講	年中行事⑥	現代の祭りを題材に、日本人の生活文化と芸能の関係について学びます。
第 7 講	日本人の信仰 ⑥	近代以降の宗教政策と日本人の信仰について学びます。	第 15 講	まとめ	全体を総括し、思想史を学ぶ意味について考えます。
第 8 講	中間のまとめ	第 2 ～ 7 講の学習内容を総括します。またミニテストを実施します。	定 期 試 験		仏教思想と年中行事等の発展の経緯について説明を求める試験です。基本的な用語の知識も確認します。
評価方法		授業への取り組み 30 パーセント、試験 70 パーセント（中間課題と期末試験）。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			大日方克己『古代国家と年中行事』講談社学術文庫 井原今朝男『史実中世仏教』第 2 巻（興山舎） 佐藤弘夫ほか編『概説日本思想史』（ミネルヴァ書房）		